

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

平成31年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通調査事業(計画推進事業)

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果	
柳川市地域公共交通協議会	平成30年3月に策定した柳川市地域公共交通網形成計画に基づき、平成30年10月のコミュニティバス再編に合わせてコミュニティバス再編啓発マップを作成した。コミュニティバスのルート図や時刻表だけでなく、路線バスやタクシー等の公共交通機関やお得情報、啓発情報を掲載し、総合的に利用できるものとした。 作成部数: 25,000部 配布先: 全世帯、図書館、病院、観光協会、運転免許証自主返納者等	A	今回作成した総合時刻表を使用して出前講座や時刻表配布を行い、利用促進を行っていく必要がある。また、今後時刻表やルートが変更された際にも、分かりやすい形で利用者に周知できるようにする必要がある。	今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられる。公共交通マップ、時刻表の作成については、第三者評価委員会において、①字の大きさ、②サイズ、③利用者が自宅の最寄りのバス停の時刻を手書きできるメモ欄の設定、④バスの時刻に間に合わない際のタクシー会社の電話番号の記載について、助言があったところである。今後、改定する際は今回得られた成果や課題を参考にされるとともに地域公共交通の確保維持にしっかりと繋がることを期待します。	
八女市地域公共交通協議会	・公共交通ガイドブックの作成 市内の各公共交通機関の基礎的情報、公共交通マップ(路線図・運行区域図)や乗り継ぎを含めた時刻表、利用方法などをまとめて示した公共交通ガイドブックを作成。	A	これまで公共交通を利用していなかった人が公共交通の利用をイメージできるようなガイドブックを作成する。	今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられる。公共交通マップ、時刻表の作成については、第三者評価委員会において、①字の大きさ、②サイズ、③利用者が自宅の最寄りのバス停の時刻を手書きできるメモ欄の設定、④バスの時刻に間に合わない際のタクシー会社の電話番号の記載について、助言があったところである。今後、改定する際は今回得られた成果や課題を参考にされるとともに地域公共交通の確保維持にしっかりと繋がることを期待します。	
	・公共交通専用ホームページの開設 市内外に市内の公共交通に関する情報を発信し、公共交通に関する情報提供の充実図るため、ホームページを開設した。	A	ホームページの周知や情報を充実させることにより、公共交通の利用促進を図っていく。		
宗像市地域公共交通会議	公共交通マップ(総合時刻表)の作成 コミュニティバスの運行改定に合わせて路線図を刷新するとともに路線沿線施設へのアクセス情報を掲載する等し、既存の時刻表が使いやすいものになるよう改善を行った。また、沿線地区住民への周知やコミュニティバス車内で配布するために、路線別の時刻表リーフレットを新たに作製。 平成31年3月15日号市報に併せて保存版の時刻表を全世帯に配布するとともに、携帯用の時刻表と路線別時刻表についてはバス車内及び市内主要施設に配架した。 総合時刻表(保存版): 39,000部 作成 総合時刻表(携帯用): 5,000部 作成 路線別時刻表 (コミュニティバス8路線・6種類): 10,000部 作成	A	今回、新たに取り入れた部分を中心に、利用しやすさを評価し、次回改定時の改善につなげていく。特に、路線別の時刻表については利用促進策のツールとしての活用方法を検討していくため、掲載情報の内容見直しと追加を検討していく。	今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられる。公共交通マップ、時刻表の作成については、第三者評価委員会において、①字の大きさ、②用紙のサイズ、③利用者が自宅の最寄りのバス停の時刻を手書きできるメモ欄の設定、④バスの時刻に間に合わない際のタクシー会社の電話番号の記載について、助言があったところである。今後、改定する際は今回得られた成果や課題を参考にされるとともに地域公共交通の確保維持にしっかりと繋がることを期待します。	

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
糸島市地域公共交通協議会	<p>◆公共交通マップ・時刻表の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内にあるすべての公共交通を網羅した公共交通マップ・時刻表を10,000部作成する予定。 ・使いやすい公共交通マップ・時刻表の作成に向け、内容を検討中。 ・平成31年4月には一部路線の見直し、ダイヤ改正を予定しており、その内容を踏まえたものを作成する予定。 ・素案ができた段階で、バス沿線校区に設置している「バス利用促進協議会」に素案を示し、バス利用者からの意見の聴き取りを行った上で、利用者目線で分かりやすい公共交通マップ・時刻表を作成する。 	A	<p>・今後も随時、路線・ダイヤの見直しを行う予定であるため、総合交通マップ及び時刻表も随時見直しを行う必要がある。</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられる。公共交通マップ、時刻表の作成については、第三者評価委員会において、①字の大きさ、②サイズ、③利用者が自宅の最寄りのバス停の時刻を手書きできるメモ欄の設定、④バスの時刻に間に合わない際のタクシー会社の電話番号の記載について、助言があったところである。今後、改定する際は今回得られた成果や課題を参考にされるとともに地域公共交通の確保維持にしっかりと繋がることを期待します。</p>	
嘉麻市地域公共交通協議会	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通マップ等の作成 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市バスだけでなく、西鉄バス、JRを含む主要なバス停や駅、乗継ポイント等をまとめた公共交通マップ及び地区毎の路線拡大図、乗継情報、総合時刻表を作成するため、内容や構成を検討中です。また、西鉄バスやJRのダイヤ改正（平成31年3月）を踏まえた公共交通マップを作成します。 	A	<p>・今後も誰もが分かりやすく利用しやすい公共交通の実現に取り組むため、市のホームページを利用した公共交通マップ等の周知など、身近にある公共交通網の啓発に取り組みます。</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられる。公共交通マップ、時刻表の作成については、第三者評価委員会において、①字の大きさ、②サイズ、③利用者が自宅の最寄りのバス停の時刻を手書きできるメモ欄の設定、④バスの時刻に間に合わない際のタクシー会社の電話番号の記載について、助言があったところである。今後、改定する際は今回得られた成果や課題を参考にされるとともに地域公共交通の確保維持にしっかりと繋がることを期待します。</p>	
	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乗降モニタリング調査 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成32年度の全体路線見直しにおいて、市バスの運行に必要となる詳細な路線やバス停留所、ダイヤの調整等を検討するにあたり、市民の利用動向にさらに合致した公共交通を検討・構築するため、市バス・福祉バスの乗降者数等を把握するための乗降モニタリング調査や乗り込み調査を実施しています。 	A	<p>・嘉麻市の公共交通網の維持・形成のため、運行する各路線の利用状況等調査を行い、市民ニーズに即した利用促進に繋がる運行ルートや時間帯、運行形態、運行便数等の見直し・調整等に今後も継続して取り組みます。</p>		
久山町地域公共交通活性化協議会	<p>モビリティマネジメントの実施【久山町・コミュニティバス】</p> <p>2～3月にイコバス利用者等を対象として実施予定。 (イコバスの運行エリアがH31年4月～拡大するのに合わせて)</p>	-	<p>H31年4月～トリアスを乗継拠点として、イコバスと西鉄バスが運行される状況の中で、MMの対象としては、イコバス利用者、イコバスから西鉄バスへ乗り継ぐ利用者、西鉄バス利用者の3つが考えられるが、乗継ぎの利用者は乗継抵抗があるため、利用促進は困難であると想定される。そこで、イコバスの利用者を中心に、継続的に事業を実施することが有効であると考えられる。</p>	<p>事業終了後に適切に評価が行われるとともに、今回得られた成果や課題が今後の地域公共交通の確保維持にしっかりと繋がることを期待します。</p>	
	<p>乗降調査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通網形成計画に定める目標の達成状況の評価及び計画に基づき事業の評価を行うため、西鉄27B及びイコバスにおける乗降調査を実施済み。(西鉄27B: 11/29(木)、12/2(日)、イコバス: 12/13(木)、12/16(日)) 	A	<p>継続的に利用状況をモニタリングすることが必要であるため、今後も継続的に実施。</p>		
	<p>協議会開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画に基づく達成状況の事業評価を行うための協議会を2～3月に開催予定。 	-	<p>今後も引き続き、事業の達成状況の評価は年度の最後に行うようにしたいと考える。</p>		

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
荒尾市地域公共交通 活性化協議会	モビリティマネジメントの実施【荒尾市・産交バス・西鉄バス・荒尾タクシー・平和タクシー・有明タクシー】 高齢者を対象としたモビリティマネジメントとして、個々の生活パターンに合った公共交通利用提案書、お試し乗車券及び公共交通に関する資料を対面にて配付・説明を行い、利用促進を図った。	A	本事業については、複数回、対面により説明を行う必要があるものの、対象者の多くが高齢者であり、対象者への負担が大きいことが課題である。本事業の結果を分析し、配付資料別の有益性を把握し、対象者に関心を持たせる資料提供を行う。また、より効果の高かった地域、及び年代をターゲットに、引き続き、個々の生活パターンに合った公共交通利用提案を行う。	公共交通マップ、時刻表の作成については、第三者評価委員会において、①字の大きさ、②サイズ、③利用者が自宅の最寄りのバス停の時刻を手書きできるメモ欄の設定、④バスの時刻に間に合わない際のタクシー会社の電話番号の記載について、助言があったところである。今後、改定する際は今回得られた成果や課題を参考にされるとともに地域公共交通の確保維持にしっかりと繋がることを期待します。	
	ラッピングバスの運行【荒尾市・産交バス】 本市のマスコットキャラクター「マジッキー」をデザインするとともに、バスの利便性に関する情報をデザインしたラッピングバスの運行を行った。	A	バスの利用状況を分析した上で、必要に応じて、同様の事業を実施する。		
	公共交通マップの作成・配布【荒尾市・産交バス・西鉄バス・荒尾タクシー・平和タクシー・有明タクシー】 自宅近くのバス停の場所や、自宅付近を運行する路線が分からないという課題を解決するため、地区ごとに、バス停の位置や公共交通の利用方法等を記載した公共交通マップを作成し、全戸配布により周知を図る。	A	引き続き、利用者のニーズに合った公共交通に関する情報を提供する。		
杵築市地域公共交通 活性化協議会	公共交通マップの作成	A	今後も、路線の見直しや時刻表の改正が予想されることから、年度または隔年度で公共交通マップの更新を行い、利用者の利便性向上に努めたい。	今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられる。公共交通マップ、時刻表の作成については、第三者評価委員会において、①字の大きさ、②サイズ、③利用者が自宅の最寄りのバス停の時刻を手書きできるメモ欄の設定、④バスの時刻に間に合わない際のタクシー会社の電話番号の記載について、助言があったところである。今後、改定する際は今回得られた成果や課題を参考にされるとともに地域公共交通の確保維持にしっかりと繋がることを期待します。	
九重町地域交通協議 会	【コミュニティバスの車両ラッピング】 本年度10月より再編されたコミュニティバス路線に応じ、路線別にバス車両を明確化するために使用車両の一部のラッピングを施行。今後、車両更新の際に残りの車両もラッピングを行い全路線において明確化される見込み。 また、各車両の基本色は昨年度策定した公共交通マップの各路線の時刻表の色と同系統色としており、公共交通マップとの連動も図れる。	A	現在、実施している車両ラッピングは町内を走るコミュニティバスの一部であり、今後車両更新に合わせて確実にラッピングを行い、明確化を完了させる必要がある。	今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられる。今回得られた成果や課題が今後の地域公共交通の確保維持にしっかりと繋がることを期待します。	

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果	
大分県地域公共交通活性化協議会	<p>平成29年度に策定した「大分県南部圏地域公共交通網形成計画」及び平成30年9月に国の認定を受けた「大分県南部圏地域公共交通再編実施計画」に基づき、路線バスやコミュニティバスの利用者に対し、バスの運行路線図（佐伯市全体路線図及び佐伯市内各地区拡大路線図）を、佐伯市及び大分バス（株）と協議のうえ作成し、佐伯市内全戸に配布した。</p> <p>また、高齢者が路線バスやコミュニティバスを利用して外出する機会を拡大するため、高齢者を対象として、バスの利用方法や公共交通を利用した外出パターンを周知する「バスの乗り方教室」を開催予定であり、現在、詳細について佐伯市及び大分バス（株）と協議のうえ、佐伯市内2カ所で実施した。</p> <p>なお、今回策定した大分県南部圏地域公共交通再編実施計画は大分県佐伯市及び津久見市を対象地域としているが、津久見市はほぼ従来どおりの運行を継続する計画としたため、本事業では、バス路線網を全面的に再編した佐伯市において実施した。</p> <p>①バスマップ（運行路線図） ・作成対象地域＝大分県南部圏のうち佐伯市 ・サイズ＝A3、両面刷り ・表面内容＝佐伯市全体路線図 ・裏面内容＝佐伯市内各地区別拡大路線図 ・作成種別＝本匠・弥生地区版、宇目・直川地区版、鶴見・米水津地区版、蒲江地区版の4種 ・作成部数＝4万部 ・納品日＝平成31年3月</p> <p>②バスの乗り方教室 ・開催地域＝大分県南部圏のうち佐伯市 ・開催地区＝佐伯市鶴見地区、佐伯市米水津地区 ・開催予定日＝【鶴見地区】平成31年2月、【米水津地区】平成31年3月 ・対象者＝各地区に在住するバスを利用したことのない高齢者 ・開催内容＝バスの乗降の仕方、運賃の支払い方法、路線バスとコミュニティバスとの乗り継ぎ方法 など</p>	A	<p>今回作成したバスマップ（運行路線図）や、今回開催したバスの乗り方教室を通じ、公共交通を利用したことのない高齢者等が感じている利用に当たっての不安感を解消することで、公共交通の利用促進につなげたい。</p> <p>また、年度内にバスの乗り方教室を開催できなかった他地区においても、同様の乗り方教室の開催や、地域で行われる高齢者を対象とした行事においてバスの乗り方ガイドブックの配布等を行うなど、公共交通利用に対する不安の解消と利用拡大を図っていきたい。</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられる。公共交通マップ、時刻表の作成については、第三者評価委員会において、①字の大きさ、②サイズ、③利用者が自宅の最寄りのバス停の時刻を手書きできるメモ欄の設定、④バスの時刻に間に合わない際のタクシー会社の電話番号の記載について、助言があったところである。今後、改定する際は今回得られた成果や課題を参考にされるとともに、次年度も引き続きバスの乗り方教室を行うことにより地域公共交通の確保維持にしっかりと繋がることを期待します。</p>	

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
竹田市地域公共交通 確保維持協議会	<p>地域住民に対するモビリティマネジメント策（公共交通を利用した外出促進事業）の実施</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通網形成計画において運行形態を改善した路線（実証運行）の現況と課題整理 ・運行形態を改善した路線について、試乗体験イベントを実施した。（久住地区・直入地区・城原地区・宮城地区の4回開催） ・利用者にアンケート調査 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郊外部から都市拠点間の運行距離が長く、路線バス及びコミュニティバスの利用が低迷している地区を対象に、利用者への周知・利用率の向上に繋げるため実施した。 ・試乗体験イベント時に、利用者にアンケート調査を実施し、改善点、改善策を模索した。 ・この事業風景の映像を撮影編集し、利用促進のための乗り方ムービーを製作した。3月以降にかけて、本市営のケーブルテレビや、地元説明会の際に、活用する。（竹田市予算） 	A	<p>今後このイベントのように、地域の高齢者や利用者と密接した機関と連携し、路線に応じた地域交通の使い方を周知し利用率向上のための利用促進を実施したい。</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられる。公共交通マップ、時刻表の作成については、第三者評価委員会において、①字の大きさ、②サイズ、③利用者が自宅の最寄りのバス停の時刻を手書きできるメモ欄の設定、④バスの時刻に間に合わない際のタクシー会社の電話番号の記載について、助言があったところである。今後、改定する際は今回得られた成果や課題を参考にされるとともに地域公共交通の確保維持にしっかりと繋がることを期待します。</p>	
	<p>公共交通マップ・時刻表の作成</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者福祉機関との意見交換及び現況確認と課題整理 ・公共交通マップ・時刻表の印刷 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・竹田市は、高齢化が進んでいるため、交通マップ・時刻表の作成において、より高齢者が見やすいものでないといけないことから、作成にあたり各関係機関のニーズを把握した。 それらを基に、公共交通マップ・時刻表の印刷を行った。 	A	<p>今まで、平成29年度計画推進事業において、総合時刻表の作成を行った。バス停等細かい情報まで掲載でき、市民に周知ができた。しかし、対象が全市民のため、文字等高齢者向けではなかった。そのため、本事業で高齢者対象の公共交通マップ・時刻表の作成を行った。高齢者向けのわかりやすい時刻表は、存在しなかったため、大いに効果のあるものとなった。路線バス・コミュニティバスの利用率の向上が見込まれる。</p>		
	<p>モニタリング調査の実施</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・竹田市全路線乗降調査11月及び2月 ・市内タクシー協会及びバス会社現況調査 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通網形成計画を基に、計画目標1で定めた生活実態に合わせた地域公共交通網の再構築を行うため、乗降調査、運行業者、地域の現状を調査した。 ・調査結果を基に、次年度からの再編計画を作成した。 	A	<p>地域公共交通網形成計画を基に、乗降調査等の結果により、幹線系統も含め次年度についての再編計画を作成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用率向上に向けて、地域に応じた運行となるような改善が見込まれる。 		

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果	
豊後大野市地域公共交通活性化協議会	<p>大人の社会見学 (公共交通利用促進に関する検討会) 大分大学・三重総合高校との連携プロジェクトとして、緒方地区を対象に、生活実態や公共交通の利用意向等に関するヒアリング調査を実施した。また当該地域を対象として、コミュニティバスの利用促進策を検討し、今年度は観光・行楽目的でのコミュニティバスを使った体験試乗会を行った。今後、継続的に展開できるような仕組みづくりを検討していく。</p>	A	<p>・「大人の社会見学」は5年目を迎え、これまで市内の5地区で実施してきたが、今後は残りの2地区での実施を中心に検討する。</p> <p>・大学と高校での運営で実施しているが、今後、継続的に実施するために、地元の団体等の参画を検討する。</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられる。公共交通マップ、時刻表の作成については、第三者評価委員会において、①字の大きさ、②サイズ、③利用者が自宅の最寄りのバス停の時刻を手書きできるメモ欄の設定、④バスの時刻に間に合わない際のタクシー会社の電話番号の記載について、助言があったところである。今後、改定する際は今回得られた成果や課題を参考にされるとともに、次年度も引き続き大学・高校と連携した利用促進策を行うことにより地域公共交通の確保維持にしっかりと繋がることを期待します。</p>	
	<p>モニタリング調査 ①利用動向調査 コミュニティバス及び路線バスにおいて乗降動向を把握する調査を実施し、便別利用者数、バス停別利用者数を集計し、路線運行上の課題(運行ダイヤ、乗客の動向等)を明らかにした。 ②利用者満足度調査 利用者に対する満足度を把握するための利用者アンケート調査を行い、バスに対する満足度を分析した。(2月に実施)</p>	A	<p>・利用動向調査により明らかになった路線の課題解決のために、トリガー制度による路線・便・バス停の見直し(廃止含む)やニーズ・要望に応じたダイヤの変更、ルートの変更等を進める。</p>		
	<p>時刻表の作成 運行形態の見直しやバス停の見直し、及びダイヤの見直しにより時刻表を作成した。</p>	A	<p>・見直しに変更になった路線のダイヤやルートを反映した時刻表の作成を継続的に実施する。</p>		
始良市地域公共交通会議	公共交通マップと時刻表を組み合わせ合わせた総合時刻表(小冊子)の作成	A	<p>公共交通の運行時刻や運行経路は変更されていくものであり、実態に即した情報が掲載されたものにするために次年度以降も作成していく。</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられる。公共交通マップ、時刻表の作成については、第三者評価委員会において、①字の大きさ、②サイズ、③利用者が自宅の最寄りのバス停の時刻を手書きできるメモ欄の設定、④バスの時刻に間に合わない際のタクシー会社の電話番号の記載について、助言があったところである。今後、改定する際は今回得られた成果や課題を参考にされるとともに地域公共交通の確保維持にしっかりと繋がることを期待します。</p>	
日置市地域公共交通会議	<p>公共交通マップ・総合時刻表の作成 市全域の公共交通を分かりやすく示したマップ、路線バス、コミュニティバス、乗合タクシー等の時刻が掲載された総合時刻表を作成し、市内の全世帯及び訪問者の多い病院や商店、観光施設等に配付する。 3月末に完成・配布予定</p>	A	<p>公共交通の認知度向上を図るため、今回作成するマップ・総合時刻表を出前講座等で活用し、ターゲットを絞った出前講座等で公共交通を守り育てる意識の醸成を図っていく。</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられる。公共交通マップ、時刻表の作成については、第三者評価委員会において、①字の大きさ、②サイズ、③利用者が自宅の最寄りのバス停の時刻を手書きできるメモ欄の設定、④バスの時刻に間に合わない際のタクシー会社の電話番号の記載について、助言があったところである。今後、改定する際は今回得られた成果や課題を参考にされるとともに地域公共交通の確保維持にしっかりと繋がることを期待します。</p>	

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
南さつま市地域公共交通協議会	<p>公共交通利用促進に向けた関係機関ワーキング</p> <p>公共交通の利用が少ない地域を特定地域と位置づけ、交通事業者や農商工関係者等の地域に応じた関係者を参集した公共交通利用促進ワーキングを実施し、特定地域の再編方針や事業概要の整理を行うことができた。</p> <p>また、地域のあるべき姿と実情から見た地域協働などの地域全体でクリアすべき課題の検証ができた。</p>	A	<p>特定地域の再編方針や事業概要を再確認するとともに、地域のあるべき姿と実情から見た地域全体でクリアすべき課題についても解決する手段を検討し、本格運行が円滑に行えるよう取組を進めたい。</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられる。今回得られた成果や課題が今後の地域公共交通の確保維持にしっかりと繋がることを期待します。</p>	